

HOTLINE

美術界の最新ニュースと話題

横浜にメガギャラリー集結 「Tokyo Gendai」が 参加ギャラリーを発表

新たな国際アートフェア「Tokyo Gendai」が今年7月7日から9日まで（6日にVIPプレビュー）、パシフィコ横浜で開催されることが発表された。

主催する「The Art Assembly（ジ・アート・アセンブリー）」は、これまでに「India Art Fair」（インド）、「台北當代（TAIPEI DANGLAD）」（台湾）、「Sydney Contemporary」（オーストラリア）、「PHOTOFAIRS Shanghai」（中国）、「ART SG」（シンガポール）といったアジア太平洋地域で国際アートフェアを展開しており、「Tokyo Gendai」はその6番目と



Imi Knoebel, Anima Mundi Installation,
Courtesy of Fox Jensen

なる。

コンテンポラリーをテーマに、欧米、アジアをはじめとする世界中のギャラリーが集結し、まさに国際色豊かで現代の最先端のアートが見られると大きな期待が寄せられる。

発表された参加ギャラリーは77ギャラリー。Blum & Poe（ロサンゼルス、ニューヨーク、東京）、Ceysson & Benetiere（ニューヨーク、ケリーッヒ、パリ、リオン、ジュネーブ、サンテティエンヌ、プリアック）、「Gajah Gallery」（シンガポール、ジャカルタ、シヨグジャカルタ）など各国で展開する著名ギャラリーを含み、国際的に評価の高いコンテンポラリーアーティストによる作品を展示する。

株式会社三井住友フィナンシャルグループがプリンシパルパートナー

Keita Miyazaki,
Mutual Interference, 2023.
Courtesy of
Maho Kubota Gallery



に、日本航空がオフィシャルエアラインパートナーに、寺田倉庫がオフィシャルフェアパートナーにそれぞれ決定。さらに観光庁が実施する新規性が高く特別な体験コンテンツの創出等を支援する「観光再始動事業」の採択事業にも決まっている。

まさに官民が協力して、世界のアートシーン牽引するギャラリーが一堂に会する国際的なアートのイベントが実現。詳しくは次号7月号でも紹介する予定。

■Tokyo Gendai（東京現代）

会期 7月7日（金）〜9日（日）

6日はVIPプレビュー

会場 横浜国際平和会議場（パシ

フィコ横浜）神奈川県横浜市西区み

などみらい1・1・1

主催 The Art Assembly（ジ・

アート・アセンブリー）

<https://tokyogendai.com>

絵画の筑波賞展2023 第4回展大賞に伊藤藍さん 《白斑》

絵画の筑波賞は、茨城県のつくば市と取手市にキャンパスを置く筑波大学と東京藝術大学の在学生と卒業生・修了生（35歳以下）を対象にした美術賞展。若手作家とその創作活動の支援を通じて我が国における文

化芸術の発展に寄与することを目的に2020年に創設。4回目となる今回は、筑波大学洋画、同日本画、東京藝術大学油画、同日本画の研究室から推薦を受けた20人が展覧会に参加し、9人が各賞を受賞している。

大賞に輝いたのは伊藤藍さん（東京藝術大学油画出身）の《白斑》。実兄をモデルにした人物画の連作の一つで、「写真描写の圧倒的力量を遺憾なく発揮」（立高恵・佐藤美術館学芸部長）、「さりと落ち着いた中に確かな完成度を漂わせる内容」（大矢英雄・洋画家）、「不思議なポーズの人体、極端な遠近で迫力があり、仕事も丁寧」（倉島重友・日本画家）と各審査員から高評価を得た。準大賞の川田龍さん（東京藝術大学油画出身）の《Untitled (Bacchus 4)》も、「白色」で塗られた顔面と奔放な筆致

伊藤藍 《白斑》
絵画の筑波賞展2023大賞



がとても新鮮な印象を与える」（玉川信一・洋画家）、「描こうとする作品への真摯な姿勢がうかがえ、賛同できる作品」（藤田志朗・日本画家）と、大賞に劣らぬ評価で存在感を示した。

その他の受賞は以下の通り。優秀賞Ⅱ齋藤愛未（東京藝大日本画）《光の瞬き》、澤田麻実（筑波大日本画）《ませこぜ》、奨励賞Ⅱ椎野倫奈（東京藝大日本画）《白露》、太田琴乃（筑波大油画）《歳月》、常行哲弘（東京藝大油画）《常夜》、小松拓也（筑波大日本画）《森の子》、主催者特別賞Ⅱ近本祐紀子（筑波大日本画）《愛と記憶と影》。

受賞作および推薦作品を紹介する展覧会は、5月28日までつくば市の関彰商事本社内スタジオにて開催。8月23日～29日まで西武池袋本店にて開催予定。若手作家の渾身の作をぜひ。

詳細は <https://tsukuba-art-award.org/h4tc>。

日本画家・諸星美喜さんの新作が「とまとのじゅす」のラベルに

日展を舞台に活躍する日本画家・諸星美喜さんの新作《むく》と《うい》が小林ふあゝむの人気商品「と

まとのじゅす」と「まとのべすと」のラベルに起用され、5月末から始まる個展期間中、高島屋の食品売り場で販売される。

本誌でも紹介している通り、この絵のモデルはアトリエでともに暮らすシマリスの科戸（しなと）君。大好物のトマトとともに描かれたその姿はまさにキュートのひとこと。展覧会に行かれる方にはぜひチェックしてもらいたい商品だ。

「小林ふあゝむ」（代表取締役・小林加奈子）は、京都府福知山市でトマトや米を中心とした農作物を生産・販売する農業事業者。同社は農業や

除草剤を一切使わない有機栽培を行い、インターネットを通じて農作物や加工品を販売。さらに、消費者が農業に参加できる仕組みを提供する



諸星さんの作品が起用された「とまとのじゅす」と「とまとのべすと」（小林ふあゝむ <https://cobafarm.net/>）

〈第18回〉池袋モンパルナス回遊美術館
…風景・花・静物を描く…

〈没後24年〉尾内健治 作品展
会期=5月22日(月)~27日(土)

〈第10回〉中根和美 展
…こころの種・星降るまち…
会期=6月12日(月)~17日(土)



中根和美 「花むすび」一六曲

〈AM11:00~PM6:00 ※最終日PM5:00閉廊〉

池袋 栗原画廊

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-33-24 アポロマンション3階
TEL 03-3982-6044 FAX 03-3982-1690
[ギャラリー] 東京都豊島区西池袋3-19-5 寿マンション1階
URL <http://www.kurihara-art.com> e-mail : tokyoku@kurihara-art.com

など、現代的な農業で注目を浴びている。とくに京都丹波の環境や気候を利用し、独自の栽培方法で育てたトマトで造られた「とまとのじゅす」は人気が高く、トマトが苦手な子どもたちにも好評とか。2022年の11月に福知山城で行われた将棋の竜王戦では、藤井聡太竜王がこの商品をおやつにとったことから人気さがさらに高まり、勝負ドリンクとして話題にも。美術ファンと将棋ファンにオススメの限定商品だ。問い合わせは、73頁の展覧会情報を参照の上、各店舗まで。

銀座・永井画廊のYouTube番組リニューアルに「アート探求サロン」に

銀座の永井画廊が、開廊50周年を機にYouTubeでの配信プログラムをこの4月にリニューアルした。

「アート探求サロン」と題し、「鑑定士」で画廊代表の永井龍之介氏と、タレントでインスタグラマーとして活躍するシンディさんがパーソナリティとして登場。「アートを見る！学ぶ！買う！」楽しさを伝える15分番組となった。

アーティストとの対談やアートについてのレクチャーをメインに、分かりやすくして為になる内容で、これ

までに千住博氏がコメントを寄せたり、絹谷幸二がトークを繰り広げたりと、スター作家の生の声も聞くことができる。また「今週のオススメ作品」のコーナーでは作品の歴史的価値や意義を価格とともに紹介。美術を通して交流するアートサロンとして親しめる。毎週金曜日18時に配信。

永井画廊はいち早く2017年9月にYouTubeでの動画配信を始め、2020年に「永井美術塾」と題して好評を得たが、コロナ禍で動画配信の必要性をさらに強く感じて今回のリニューアルとなった。

「アートをより広く知ってもらい、社会との接点となる番組に育てた



「アート探求サロン」開廊50周年記念！洋画家・絹谷幸二SP対談のシーン

作品撮影

絵画、書、工芸、彫刻専門
一承ります

サイズ	出張	スタジオ撮影
8x10インチ	¥30,000	¥15,000
4x6インチ	¥10,000	¥5,000
6x7センチ	¥5,000	¥2,500
デジタル	¥5,000	¥2,500

出張は交通費別途、プリント実費、デジタルはCD焼し
（月～金8:00～18:00 / 土8:00～17:00 / 日祝日休）

(株)MGMフォートサービス

〒104-0061 中央区銀座1-21-5 河崎ビル1F
Tel.03-5636-6436 Fax.03-5636-2307
E-mail: mgt@mgmfortservice.jp
E-mail: ogm@mgmfortservice.jp

い」と永井氏。ぜひ公式チャンネルをチェックしてほしい。「いいね」や「チャンネル登録」も待っている。鑑定士 永井龍之介のアート探求サロン
<https://www.youtube.com/@nagaigarou1971>

「害虫」をテーマにしたユニークなアートコンクール「害蟲展」、season4の作品募集締め切り間近

2020年に「season1」が開催されて以降、毎年ジワジワと注目度を高めてきたコンクール「害蟲展」。

そのseason 4が今年9月～10月に開催予定だが、作品募集の締め切りである6月26日まで、いよいよ残りところ1か月余りとなった。

開催コンセプトは、昆虫の中でも「害虫」に対象を絞り、人間にとっての「不都合」「不快」「不利益」であるだけで悪モノ扱いされる彼らを持つさまざまな側面について捉え直すというもの。

持続可能社会を目指すSDGsの理念にも通じるこの発想は、主催する8thCAL株式会社が、害虫駆除・防除について、既成概念を超えた可能性を探るベンチャー企業であるか

らこそ生まれたといえる。

募集作品のテーマはこれまでと同様で、「害虫」と呼ばれている生物の、美しい点・有益な側面・生命の

昨年9月の「青蟲展」season3(東京展) (於:MATERIO BASED全場風景同展)はその後も、おぼろげな動物園スーパリア(ころも)ロジック、箕面公園昆虫館へ巡回した。



循環や存在次元などをモチーフに制作された作品であること。応募は一人1点で、他の公募展への応募履歴のない作品に限る。

表現形態は平面(15Mサイズ・65・2×45・5cm以内)、立体(3辺合計60cm以内/最大重量5kg)、

「青蟲展」season3最優秀賞受賞作品 菊池顕生(「growth」) 高さ18×5cm イエシロアリ10000匹、桐、おがくず、マント、墨汁

写真(A2サイズ・42×59・4cm以内)、映像(3分以内)、書(全懐紙サイズ・約36・5×48・5cm以内)など、様々なものを受け付ける。エントリーにあたっては、【8hCAL STORE】サイト (<https://8hcal.store.jp/>)にて「青蟲展 season4 エントリーフィーチケット」を購入。エントリーフィーは5000円(税込)。

チケット購入後、事務局より一次審査用提出フォームURLが送られてくるので、それに従って一次審査資料を提出する。

審査員は丸山宗利(昆虫学者)、館野鴻(生物画家)、満田晴穂(自在置物作家)、中峰空(箕面公園昆虫館館長)、服部雄二(Double Tail Art & Espresso Barオーナー)。

岡部美楠子(8hCAL株式会社代表)。授賞は最優秀賞(1点/賞金30万円)、優秀賞(1点/賞金10万円)、入選(約18点)、SNS賞(1点)を予定。

「青蟲展」はその着眼点のユニークさと近年の昆虫ブームも相まって、年々その規模を拡大。今回は全国3会場(東京・横浜・大阪)の巡回開催となった。今年もそれ以上の盛り上がりを見せることは間違いない。問い合わせなどは主催である左記まで。

■8hCAL株式会社

東京都中央区銀座2・16・7 恒産第1ビル3F

☎03(6822)3337

info.gaichuten@8hcal.design

始弘画廊 GALLERY SICOH



小山利枝子 ストック 紙、アクリル 44.5×53cm

小山利枝子 展

birth of light

5月29日(月)～6月10日(土)

青野正 展

6月19日(月)～7月1日(土)

日曜休廊

AM11:00～PM6:00
(最終日PM5:00)

始弘画廊 平山幹子

〒107-0062

東京都港区南青山5-7-23
始弘ビルB1F

TEL/FAX: 03-3400-0875

E-mail: sicohhirayama@gmail.com



地下鉄銀座線・千代田線・半蔵門線
表参道駅B3出口より徒歩3分



瀬戸優作品に宿る野生と重力
「AGING GRAVITY」開催

「生活の探求、美意識のある暮らし」を掲げ、その人らしい彩りを纏った自由で遊び心のある住空間を提案する IDEE (イデー)。その新コンセプトストアである IDEE TOKYO 併設S IDEE GALLERYにて、気鋭彫刻家・瀬戸優の個展が開催される。

瀬戸は1994年神奈川県生まれ。テラコッタによって造形される動物たちの姿は、その脈動が聞こえてきそう。ほど生命感、躍動感にあふれ、国内外で大人気。近々美術館での個展も予定されている注目株だ。

今回の個展では「AGING



「AGING GRAVITY」出品作より
《GRAVITY AGING -ハヌマンラングール-》
高さ90×27×68cm テラコッタ、彩色、玉眼

GRAVITY」と題して、住び寂びを感じさせる作品の数々を発表。彫刻が戦う重力との関係性に触れながら、動物たちの持つ重量感や存在感を感じ取れるような展示を行う。

「彫刻作品の制作は常に重力との戦いです。それゆえ、作品の設置や見せ方において、台座との兼ね合いは切っても切り離せない関係にあります。

台座との設置次第では動物の持つ重量感や存在感がより一層引き立つと思います。AGING GRAVITY シリーズでは台座に経年変化を感じさせる塗装を施し、生き物の持つ時間軸を表現しています」と作家。

IDEE TOKYOがあるのは、大都市・東京の心臓ともいえる東京駅。都市文化の象徴ともいえるモダンリビングの中で、それと相反するような野生の息吹をまとう瀬戸作品がどのように響きあうのか興味深い展示となる。開催概要は左記に。

■瀬戸優 AGING GRAVITY

会期 5月19日(金)～6月6日(火)
会場 IDEE TOKYO
東京都千代田区丸の内1-9

1

JR東日本東京駅改札内
グランスタ東京B1F

スクエアゼロエリア48番
03(5224)8861

アートと神をテーマに
「藝大アートプラザ」「藝大神話 - GEISHIN」展開催

東京藝術大学の教職員、学生、卒業生の作品を展示販売するギャラリー「藝大アートプラザ」は、藝大上野キャンパス構内にあり、展示と作品購入が楽しめる施設。入場無料で写真撮影も自由とあって、学生でなくとも気軽にアートに触れられると人気だ。小学館と藝大の協働事業



企画展「藝大神話 - GEISHIN」ポスター

として、2018年から運営されている。

6月3日(土)～7月23日(日)の企画展「藝大神話 - GEISHIN」は、「アートと神」をテーマに、神話をモチーフにした作品や神そのものを表現した作品、神の存在への問いかけ、世界・宇宙・アートのほじまりに呼応する作品を展示する。東京藝大のアーティストたちが紡ぎ出す神々の物語を「藝大神話」として提示する。

「神はいる? いない?」「神はアートの表現できる?」「アートの起源とは?」。そんな疑問から生まれる作品の数々をぜひ楽しんで。

■藝大神話 - GEISHIN

会期
前期 6月3日(土)～25日(日)
後期 7月1日(土)～23日(日)
月火休

※6月26日(月)～30日(金)は休業

※祝日・振替休日の場合は翌営業日が休業

会場 藝大アートプラザ

東京都台東区上野公園12・8
東京藝術大学美術学部構内

入場無料

営業時間 10時～18時

告知板

訂報

■ジョー・プライス氏

美術収集家。4月13日、老衰のため、93歳。オクラホマ州出身。ニューヨークの古美術店で偶然目にした一幅の掛け軸に魅せられ、江戸時代の日本絵画の収集を始めた。63年に初来日。66年に結婚した妻の悦子さんとともに一大コレクションを築いた。2011年の東日本大震災後には、被災した宮城、岩手、福島3県で自らのコレクションによる展覧会を開いた。19年に出光美術館が約190件を一括購入し引き継いだ。

■渡辺豊重(わたなべ・とよしげ)氏

現代美術家。5月3日、細菌性肺炎のため、91歳。ユーモラスな形や鮮やかな色で遊び心に富む彫刻や絵画を発表。近年は「鬼」シリーズや、東日本大震災後に描いた「動刻」シリーズなど、漆黒の墨による大画面作品でも知られた。長野五輪の競技施設前の彫刻など公共の場に多数制作。

■永松正継(ながまつ・まことしげ)氏

GALLERY NAGAMATSU 取締役会長。3月21日、病气のため、75歳。

移転

■秋山画廊

東京都中央区九日本橋人形町1:10
麻葉会館7F
電話03(6667)0973

■ハンゴートギャラリー

東京都千代田区東神田1・7・10
K1ビル2F
電話03(6240)1973

■エキシス (YUKI-SIS)

東京都中央区日本橋茅場町1:1・6
小浦第一ビル2B
電話03(5542)1669

■ex-chamber museum

東京都中央区日本橋茅場町1:1・6
小浦第一ビル2A
電話070(5567)1513

新設

■まえはしがレリア

群馬県前橋市千代田町5・9・1
アートギャラリーや住宅などが入る複合施設。ギャラリー1はタカ・イシイギャラリー、ギャラリー2は小山登美夫ギャラリー・MAK Gallery・rin art association・Art Office Shiobaraの4者が共同運営。

魅力ある具象絵画をめざす

第37回 日洋展 公募 油絵・水彩・版画

会期: 2023年5月31日(水)~6月12日(月) 休館日6月6日(火)

会場: 国立新美術館 展示室 2A.2B.3A.3B 〒160-8558 東京都港区六本木7-22-2

観覧時間: 午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで) 最終日は午後3時閉会(入場は午後2時30分まで)

講演会 「日洋展の絵画について」

5月31日(水) 午後3時より 国立新美術館 講堂において「無料」

ギャラリートーク 6月1日(木)・4日(日)・11日(日) 午後2時より 展示会場にて実施

2023 日洋会選抜展 5月29日(月)~6月4日(日) ぎやらいいサムホール 11:00~18:00 ※最終日16:00終了

一般社団法人 日洋会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目6番地14号 九段YMビル3階

TEL 03-6388-9858 FAX 03-6388-9924 <http://www.nichiyukai.com>